

仕様書

I 概要

- 1 件名 和歌山市勤労者総合センターで使用する電気の需給
- 2 需要場所 和歌山市西汀丁34番地

II 仕様

- 1 供給電気方式、供給電圧（標準電圧）、計量電圧（標準電圧）、標準周波数、供給方式、発電設備

- (1) 供給電気方式 交流3相3線式
- (2) 供給電圧（標準電圧） 6,000ボルト
- (3) 計量電圧（標準電圧） 6,000ボルト
- (4) 標準周波数 60ヘルツ
- (5) 供給方式 1回線方式
- (6) 発電設備 ①非常用自家発電装置
 - (ア) 定格出力 96kW
 - (イ) 台数 1台
 - (ウ) 用途 非常用
 - (エ) 定格電圧 220V
 - (オ) 系統関係の有無 無
 - (カ) アンシラリーサービス料対象容量 0kW

- 2 契約電力及び予定使用電力量

- (1) 契約電力 別紙のとおり

ただし、実際の取引においては各月の契約電力は、その1か月の最大需要電力と前月11か月の最大需要電力のうち、いずれか大きい値とする。

- (2) 予定使用電力量 別紙のとおり

- (3) 最大需要電力実績及び使用電力量実績 別紙のとおり

- 3 供給期間

令和7年3月計量日から令和8年3月計量日前日まで

- 4 電力量等の検針

- | | |
|-----------|-----------|
| 自動検針装置 | 有 |
| 電力会社の検針方法 | 自動検針 |
| 計量器の構成 | 電力需給用複合計器 |

- 5 需給地点

需要場所構内引込口

6 電気工作物の財産分界点

需給地点に同じ

7 保安上の責任分界点

需給地点に同じ

Ⅲ その他

- 1 フリッカ発生機器等電気の質に影響を与えるような負荷設備は特に有していない。
- 2 非常用自家発電設備 96kW×1台を有している。
- 3 力率の変動、その他の要因による電気料金の調整及び仕様書に定めのないその他供給条件については、当該地域を管轄するみなし小売電気事業者が定める電気供給条件（特別高圧・高圧）による。ただし、燃料費調整額については、入札時の基準燃料価格等の算定諸元を契約期間用いることとする。
- 4 料金その他を計算する場合の単位及びその端数処理は次のとおりとする。
 - (1) 契約電力及び最大需要電力の単位は、1 kW とし、その端数は、小数点以下第1位で四捨五入する。
 - (2) 使用電力量の単位は、1 kWh とし、その端数は、小数点以下第1位で四捨五入する。
 - (3) 力率の単位は、1 %とし、その端数は、小数点以下第1位で四捨五入する。
 - (4) 契約金額（消費税及び地方消費税に相当する額を含む。）に円未満の端数がある場合は、第3位以下を切り捨てる。
 - (5) 料金その他の計算における合計金額の単位は、1円とし、その端数は小数点以下を切り捨てる。

令和6年3月からの使用電力量及び最大需要電力の実績

	使用電力量(kWh)	最大需用電力(kW)
令和6年3月 (4月請求分)	12,475	78
令和6年4月 (5月請求分)	6,482	69
令和6年5月 (6月請求分)	6,373	69
令和6年6月 (7月請求分)	7,420	69
令和6年7月 (8月請求分)	10,931	78
令和6年8月 (9月請求分)	12,161	78
令和6年9月 (10月請求分)	9,162	78
令和6年10月 (11月請求分)	6,627	78
令和6年11月 (12月請求分)	8,312	78
令和6年12月 (1月請求分)	10,522	78
令和7年1月 (2月請求分)	13,269	78
令和7年2月 (3月請求分)	13,027	78

※令和6年7月以降は前年の実績値

令和7年3月から令和8年2月までの契約電力及び電力量（予定）

	使用電力量(kWh)	契約電力(kW)
令和7年3月	12,475	78
令和7年4月	6,482	
令和7年5月	6,373	
令和7年6月	7,420	
令和7年7月	10,931	
令和7年8月	12,161	
令和7年9月	9,162	
令和7年10月	6,627	
令和7年11月	8,312	
令和7年12月	10,522	
令和8年1月	13,269	
令和8年2月	13,027	
合計	116,761	